

## 【優秀賞】

タイトル：人権という言葉の深さ

生徒氏名：福地ビソラ日和

人権について深く考えたことはあるでしょうか。私は人権という言葉あまり理解していません。だから、誰かに何かを聞かれても答えられません。人権と聞いて何が思い浮かぶかは人それぞれだと思います。私は漢字の通り、人の権利や人が生きるための権利がすぐに頭に浮かびます。人権という言葉には色々な意味があると思いました。

私が以前愛知県名古屋市に住んでいた時のことです。名古屋市は日本三大都市の一つでとても人口が多い所です。そんな名古屋市で私は学童クラブにかよっていました。学童クラブとは留守家庭児童会と言って、主に親が仕事をしていて昼間留守になる家庭の子供達がかよう場所です。私の両親が共働きだったので、私は学童クラブにかよいました。学童クラブには発達障害の人や中国、ドバイ、ロシアの国の人もいて、さまざまな交流ができます。その中の一人、発達障害の一種「自閉症」という病気のA君から学んだことがあります。私がA君は自閉症だと知らなかったときに私はA君を避けていました。なぜなら、A君はみんなとしゃべり方が違うので、私は受け入れることができなかったからです。それに、長時間人の話を静かに聞いていられないのです。みんなが集中しているときにも大声を出したり、注意されても手を振り払ったり、歌を歌いだしたりと私は見ていて好きになれませんでした。他にも、いつも一人言を言っている所など、他人とは違う一面しか私は見ていませんでした。

そんなある日、A君に

「ひよりちゃん。となり座っても良い？」

と聞かれて、私は

「良いよ。ここにおいで。」

とその時自然に言えました。一緒に話していると、A君に障害があることなんか全く気にならないで接することができました。

そして私はハッとしました。A君と出会った時、私がなんてひどいことをしたのかとても後悔したのです。私がA君にとった態度で、A君がどんな気持ちでいたかを考えると自分がはずかしいです。

私はA君の一面だけを見て、すべてを知ったように思いがちでした。このように、その人の一面だけを見て、避けたりするようなかたよった見方や考え方を偏見というのだと私は考えました。

これからは同じことを二度くり返さず、相手を嫌な気持ちにさせないように心

がけて、どんな人にも平等に接したいと思います。

他にも、日常生活には差別も多く見られます。インターネットで調べてみると、「特定の人々に対して不当な扱いをすること」と書いてありました。

昔、ヒトラーがユダヤ人を殺した時に、何の罪もないユダヤ人が沢山被害を受けました。ユダヤ人だからという考えで、ひどい扱いをするのは差別だと思います。人種差別は、黒人と白人の中でもありました。黒人は人格を否定され家畜と同様の扱いをされていた時期があると私は知り、こう思いました。差別をしている方はされている方の気持ちも考えるべき。人と少しでも違う所を大きくとりあげて奴隷のように扱ったりするのはおかしい。

私は黒人と黄色人種のハーフなので色々な気持ちになったことがあります。髪の毛にカールがかかっていることをばかにされたこともあります。でも、私は黒人の血が入っていることを一度も嫌だとは思ったことはないしとても誇らしく思います。

みんな同じ人間だということを忘れてほしくありません。見た目だけで人の身分の位を決めるのは偏見でもあると思います。これからは、そのようなことがどんどん減っていけば良いです。

それに、私は誰かに可哀想と思われるのが好きではありません。自分は自分で相手には相手なりの考えがあるのです。例えば、今では色々な学校に「特殊学級」というのが設けられています。そこにいる、障害を持った子供達を見て、私の友達は

「あの人見て、可哀想だね。」  
というのです。

何が可哀想なのでしょうか。障害を持っているからでしょうか。このような言い方を自分がされたらどう思うのでしょうか。もう少し相手の立場になって考えるべきだと思います。可哀想という言葉は、人を見下しているように聞こえる時もあることが分かりました。そして、人権という言葉の意味はとても幅広いことに気付きました。人権について勉強した今、誰かに何かを聞かれたら胸を張って「人が生きる権利」だと答えられます。